

知多市	所属議員	中山 貴弘
------------	------	-------

【活動選定項目】 国・県・市町で連携して取り組むテーマを設定	① カーボンニュートラル(CN)への対応 (エネルギー政策、水素社会、電動車) ② 誰もが自由に安心して移動できるモビリティ社会の実現 ③ 自動車整備士・ドライバーの更なる魅力向上	④ 地域への貢献活動 (例:部活地域移行、ボランティア団体の後継者育成) ⑤ 子育て支援策 ⑥ 行政の DX 推進施策 ⑦ 人手不足解消への対応(多様性や多文化共生への対応など)
--	---	---

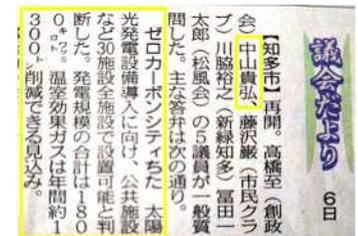
具体的活動 (調査・研究含む)	○9月定例会で 4年連続 となるゼロカーボンシティちたの実現に向けた取組について、一般質問を行う(内容抜粋) Q. 補助金の申請状況に係る今年度と昨年度の比較は？ A. 住宅用設備導入補助金は、現在申請件数 58 件 で、金額は 968 万円 、残額は 932 万円 となっています。 また、個人用次世代自動車購入補助金は、申請件数 22 件 で、金額は 180 万円 、残額は 570 万円 となっています。
---------------------------	---

選択した項目 テーマ <u>①</u>	Q. 公共施設等再生可能エネルギー設備導入調査の詳細及び結果はいかに？ 公共施設への太陽光発電設備の導入に向けて調査した 30 施設全て において 設置可能 と判断しました。結果、発電規模は約 1,800kW で温室効果ガス排出量は年間で約 1,300 t 削減 できる見込みです。 Q. 改正気候変動法への対応(クーリングシェルター指定)については？ 公共施設 10 か所 を指定し、民間施設 1 か所 を追加しました。愛知県に熱中症特別警戒アラートが発表された場合は、通常の開館時間において開放します。 Q. 市内事業者の水素事業は？ 大興寺地内では 水素ステーション が3月に開所し、液化天然ガスを原料として 水素を製造するプラント が6月に開所しました。また、北浜地区では 廃プラスチックを原料として水素を製造する計画 が進められています。 Q. 低炭素水素モデルタウン事業の詳細は？ 知多水素ステーション周辺をモデルエリアとして、愛知県が環境省の補助を受けて行う実証実験です。今年度は実現可能調査を行い、 来年度以降に具体的な実証 を進める計画です。本市は 県の共同実施者 となっており、公共施設(知多斎場・八幡給食センター・梅の館)を実証の場とすることによって県に協力しています。
-------------------------------	--

【図や活動の様子が分かる写真など】



▲ 9.6 通算 21 回目登壇



▲ 9.7 中日新聞地域版

○要望
 新庁舎建設に向け、公用車の管理について適正車両台数を検証することができるアプリの無償モニター制度を提案。公用車削減には市の取組成果を市民に分かりやすく伝える上で効果が大きい。また、削減した経費を公用車電動化の原資に充てることができる。
 (栃木県高根沢町 取組参考)

今後の活動	令和 7 年度知多市予算要望書へ展開 これまでの一般質問、常任委員会等で提言した提案及び要望案件について進捗を注視していく
-------	--